

現3年生（75期生）から見る

東陽中学校「授業づくり」の 取り組みの成果・課題

「全国学力・学習状況調査」および
「中学生チャレンジテスト」
調査結果の分析・検証



令和4年度 東陽中学校「授業づくり」の取組み

○本年度の校内研究テーマ

「考えたくなる『問い』で、脳に汗かく授業づくり」

- ・ 1学期 パフォーマンス課題設定（思考・判断・表現力の向上）、図書館活用のモデル授業（読解力・情報活用能力の向上）
を行い、めざす授業のイメージ共有〔教員間で共有〕
- ・ 2学期以降 各教員が学期に1回、めざす授業実践

○めざす授業は…

- ①学校でしかできない学びができる授業→言語活動の設定
- ②考えたくなる問い（本質的な問い）を設定した授業
- ③基礎学力の定着を図る授業



「全国学テ」および「チャレテ」質問紙から見た 現3年生の特徴①

令和4年度全国学力・学習状況調査

回答結果集計 [生徒質問紙]

泉大津市立東陽中学校一生徒

1段目：学校の生徒数の割合(%)

2段目：都道府県(公立)の生徒数の割合(%)

3段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問事項	選択肢			
	1	2	3	4
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	39.6	41.8	16.0	2.7
	37.1	41.8	16.7	4.3
	37.0	42.9	16.3	3.7
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	60.4	31.6	6.7	1.3
	57.0	34.4	7.0	1.5
	56.8	35.4	6.5	1.2

1.している 2.どちらかといえばしている 3.あまりしていない 4.全くしていない

基本的な生活習慣が身に
着いている生徒が多い



落ち着いた状況で学校
生活を過ごしている

(真面目にコツコツと
学習する)

成績に敏感である

「全国学テ」および「チャレテ」質問紙から見た 現3年生の特徴②

令和4年度全国学力・学習状況調査

回答結果集計 [生徒質問紙]

泉大津市立東陽中学校一生徒

1段目：学校の生徒数の割合(%)

2段目：都道府県(公立)の生徒数の割合(%)

3段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問事項	選択肢				
	1	2	3	4	5
1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	51.1	32.0	9.3	4.4	3.1
	21.3	21.8	28.6	19.8	8.4
	21.6	29.3	29.7	14.2	5.0
学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)	39.1	40.4	16.0	3.1	1.3
	13.5	20.1	28.9	24.7	12.6
	12.3	24.9	34.5	20.6	7.6
学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	20.0	40.0	25.3	8.9	5.8
	7.2	12.2	21.2	25.5	33.7
	5.0	12.8	25.7	27.6	28.7
学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか	14.2	28.4	28.4	20.0	8.9
	6.6	10.2	18.0	30.1	34.8
	4.7	10.3	20.3	32.3	32.3

1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満

入学時から、1人1台端末
(iPad)があり、授業でICT
機器を使用することに慣れて
いる生徒が多い



インターネット検索、
意見交換・意見発表
(ロイロノート活用)得意

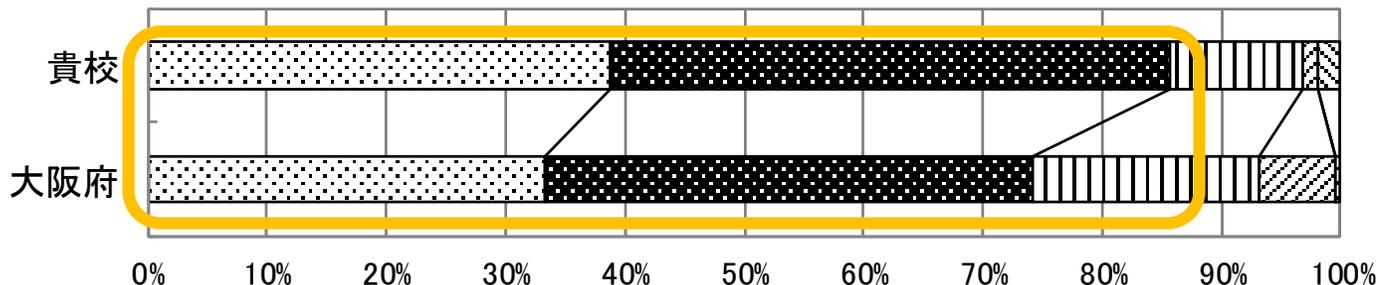
「全国学テ」および「チャレテ」質問紙から見た 現3年生の特徴③

令和4年度中学生チャレンジテスト（3年生）

アンケート結果 泉大津市立東陽中学校

質問番号	質問事項									
問4	授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	38.7	47.0	11.1	1.4	-	-	-	-	0.0	1.8
大阪府	33.2	41.0	18.9	6.5	-	-	-	-	0.0	0.4

- 1. 当てはまる
- 2. どちらかといえば、当てはまる
- 3. どちらかといえば、当てはまらない
- 4. 当てはまらない
- その他
- 無回答



R4年度、図書館活用のモデル
授業を積極的に取り入れる



パフォーマンス課題の設定も
あり、図書館の書籍やイン
ターネット等での調べ学習の
機会が多くなった

成果 基礎学力の定着① 社会

令和4年度中学生チャレンジテスト（3年生）
[社会]
泉大津市立東陽中学校

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点		得点率(平均点/配点)	
				貴校	大阪府	貴校	大阪府
	全体	36	100	57.3	55.4	—	—
評価の観点	知識・技能	28	76	46.7	45.0	61.4	59.1
	思考・判断・表現	8	24	10.6	10.4	44.1	43.4
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—	—	—
問題形式	選択式	30	80	47.3	45.9	59.2	57.4
	短答式	4	12	7.4	6.9	61.6	57.5
	記述式	2	8	2.5	2.6	31.6	32.4

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

社会科では、昨年度のチャレンジテストに続き、今年度も大阪府平均を
2ポイントほど上回る → 生徒の前向きな授業への取り組みの成果

成果 基礎学力の定着② 理科

全国学テ (4/19実施)

チャレテ (9/6実施)

府平均と比べて
-3P

	平均正答率%	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象問題数	21	7	14	-
東陽中学校	44	40.9	45.9	-
大阪府	47	44.1	47.8	-
全国	49.3	46.1	51.0	-



府平均と比べ
-0.8Pまで
改善
「知識・技能」は
府平均を上回る

	平均正答率%	評価の観点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象問題数	30	15	15	-
東陽中学校	55.9	63.7	49.5	-
大阪府	56.7	63.5	51.1	-

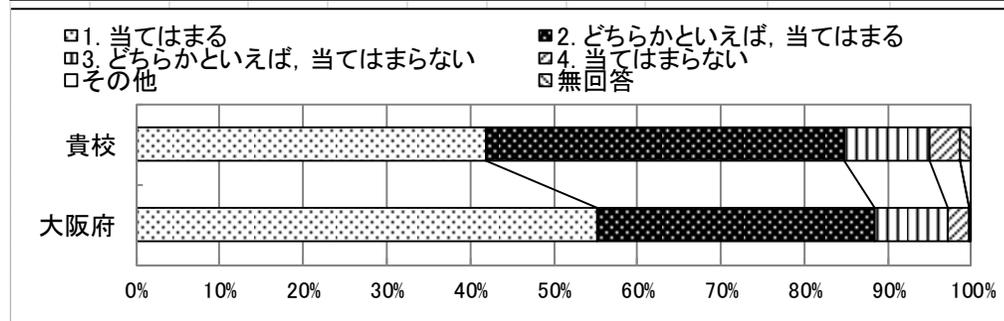
理科の授業では、ふりかえりシートや探求シート（自主的な課題設定）を積極的に活用 → 「知識・技能」定着にも効果

課題

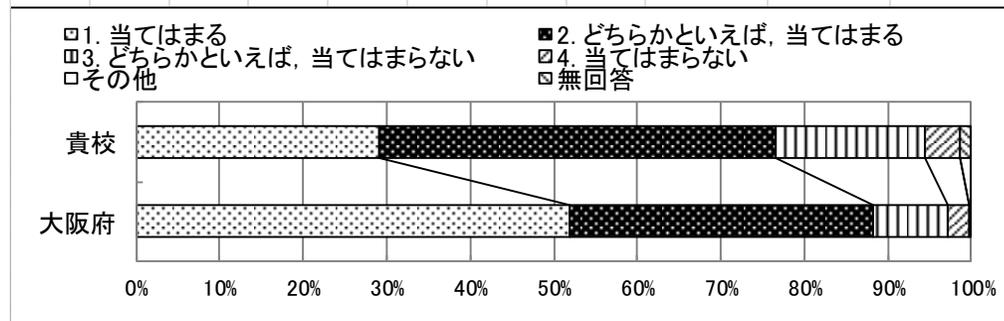
学校でしかできない学びができる授業（言語活動の設定）

「チャレンジテスト」アンケートから

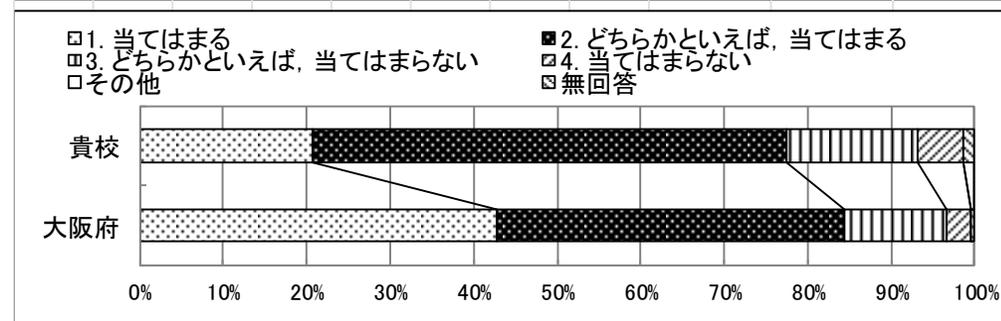
質問番号	質問事項									
問1	授業中、ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	41.9	42.9	10.1	3.7	-	-	-	-	0.0	1.4
大阪府	55.1	33.2	8.8	2.5	-	-	-	-	0.0	0.3



質問番号	質問事項									
問2	授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	29.0	47.5	18.0	4.1	-	-	-	-	0.0	1.4
大阪府	51.9	36.3	9.0	2.4	-	-	-	-	0.0	0.4



質問番号	質問事項									
問3	授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりしている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
貴校	20.7	56.7	15.7	5.5	-	-	-	-	0.0	1.4
大阪府	42.8	41.6	12.2	2.9	-	-	-	-	0.0	0.5



「自分の考えを書く」「自分の考えや意見を伝える」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」ことについて、強い肯定が少ない



今年度のテーマ「学校でしかできない学びができる授業(言語活動の設定)」を推進し切れていない

今後の東陽中学校「授業づくり」の方向性

- ◎ 「学校でしかできない学びができる授業（言語活動の設定）」を大胆に行う。
【なかまとともに、課題解決を図るパフォーマンス課題の設定を積極的に行う】
- ◎ 学ぶことを諦めてしまう生徒が出ないように、集団づくりの取組みの成果もいかしながら、各生徒の「主体的に学びに向かう力」を意識した授業づくりを行う。

